

アジア・キリスト教・多元性

第20号

巻頭言 「近代日本におけるキリスト教受容と讃美歌」	
.....	芦名定道 (1)
論文	
海老名弾正の帝国神道的キリスト教の形成と三位一体論的な神道理解 —— 15年戦争期における海老名弾正・渡瀬常吉・大谷美隆を中心に ——	
.....	洪伊杓 (5)
朝鮮における華僑プロテスタント建設請負業者によるミッション関連建築施工 —— ソウル地域のハリー・チャンと王公温を中心に ——	
.....	李恵源 (33)
随想	
西田哲学から世界を見る —— パラダイム転換の必要性 ——	
.....	高橋勝幸 (55)
活動報告 (70)
あとがき 芦名定道 (72)

2022年3月

「アジア・キリスト教・多元性」研究会

研究会の活動内容

研究会の活動内容 (2021 年度)

第 194 回・研究会

日 時：2021 年 4 月 3 日（土曜日） 10 時 30 分～12 時 30 分

場 所：オンライン（Zoom Meeting）

発 表：メナチェ・アンドレス「宣教師たちと〈悪魔の法〉——イエズス会士による伴天連追放令の理解」

第 195 回・研究会、2020 年度総会

日 時：2021 年 5 月 1 日（土曜日） 15 時～17 時

場 所：オンライン（Zoom Meeting）

発 表：芦名定道「アジア・キリスト教・多元性」研究会の歩みを振り返って

2020 年度総会の開催

第 196 回・研究会

日 時：2021 年 5 月 29 日（土曜日） 15 時～17 時

場 所：オンライン（Zoom Meeting）

発 表：李 恵源「朝鮮における華僑プロテスタント建設請負業者によるミッション関連建築施工——ハリー・チャンと王公温を中心——」

第 197 回・研究会

日 時：2021 年 7 月 24 日（土曜日） 14 時 30 分～16 時 30 分

場 所：オンライン（Zoom Meeting）

発 表：渡部和隆「塚本虎二の『ヘブル書講義』における無教会主義の基礎とその修練」

第 198 回・研究会、合評会（『アジア・キリスト 教・多元性』19-2 号）

日 時：2019 年 8 月 28 日（土曜日） 14 時 30 分～18 時

場 所：オンライン（Zoom Meeting）

発 表：松山健作「朝鮮聖公会主教工藤義雄の戦後——朝鮮からの引揚者における教会形成と神学思想」

合評会：渡部和隆「内村鑑三のスコットランド観——日本概念の構造的な分析」（担当：役重善洋）

第 199 回・研究会

日 時：2021 年 10 月 29 日（金曜日） 14 時 30 分～16 時 30 分

場 所：オンライン（Zoom Meeting）

発 表：麻生 将「近代日本のキリスト教集団の排除に関する歴史地理学 —— 1930 年代のいくつかの排撃事件を事例に——」

第200回・研究会

日時：2021年11月13日（土曜日） 14時30分～16時30分

場所：オンライン（Zoom Meeting）

発表：藤本憲正「魚木忠一のキリスト教類型論についての一考察——その来歴と「触発」をめぐって」

第201回・研究会

日時：2021年12月11日（土曜日） 14時30分～16時30分

場所：オンライン（Zoom Meeting）

発表：韓 亨模 「超越のあと、絶対無とエクセ——ポストモダンの視点から見た「超越」論のあとに
くる〈絶対無〉と〈エクセ〉の議論について——」

第202回・研究会

日時：2022年2月5日（土曜日） 14時～18時

場所：オンライン（Zoom Meeting）

発表：芦名定道「近代日本におけるキリスト教受容と讃美歌」

高橋勝幸「西田哲学から世界を見る——パラダイム転換の必要性——」

第203回・研究会

日時：2022年3月11日（金曜） 13時30分～16時

場所：オンライン（Zoom Meeting）

発表：洪 伊杓「戦時下における三位一体論的な神道理解——渡瀬常吉と大谷美隆を中心に——」

◆『アジア・キリスト教・多元性』第20号をお届けいたします。

本研究雑誌は、「アジア・キリスト教・多元性」研究会の研究活動報告論文集として刊行され、本研究会の前身となる旧「アジア・日本のキリスト教と宗教的多元性」研究会の研究ジャーナルから通算して第20号（21冊）となりました。第19号は、世界的に広範に拡大した新型コロナウイルス感染への対応などの理由で、第18号への投稿が間に合わなかった研究会メンバーのために、第1集と第2集の二つに分けて刊行しましたが、2021年度の研究活動を報告する第20号は、通常通り、年度末1回の刊行です。執筆の方々はもちろん、研究会での議論に参加いただいたメンバーの方々、特に、編集担当者に全面的な協力をいただくことによって、無事に刊行することができました。この場をお借りして、心よりお礼を申し上げます。

なお、第20号は、電子ジャーナルとして研究会ホームページと京都大学学術情報リポジトリにおいて公開されますので、コピーなどの必要な方は、これらをご利用ください。

◆2021年度の研究会の活動の詳細については、この20号に収録された「研究会の活動内容（2021年度）」また研究会ホームページに記載された通りですが、先に説明しました新型コロナウイルス感染拡大への対応として、2020年度から引き続き、オンライン（Zoom）で研究会を開催しました。2022年度については、現時点ではっきりした方針を示すことは困難ですが、オンラインなどの形態で柔軟に研究会を実施したいと考えています。ご協力をよろしく願いいたします。なお、オンラインでの研究会の実施は、新型コロナウイルス感染拡大への対応という理由からでしたが、オンライン研究会にはハワイや韓国在住の方をはじめ遠方の方々に参加いただくことができました。この点で、オンライン研究会は、今後の研究会の実施形態として積極的に位置づけることも可能です。ご意見をお寄せいただきますよう、お願いいたします。

◆本研究会の総会は、2022年5月の連休前後に開催されるものと思いますが、総会では、2022年度の役員などの選出に加えて、研究会の活動のあり方についても協議されることとなります。研究会を担当する者として、研究会のいっそうの活性化を期待しています。

◆2021年度も、毎月の研究会には新しいメンバーが加わりました。総会で、自己紹介をお願いする予定です。

◆研究会メンバーの研究テーマは、おおよそ、キリシタン研究、明治以降の近代キリスト教史、キリスト教思想・宗教哲学とまとめることができますが、毎月の研究会とジャーナルで研究会メンバーが個人として研究発表することに加えて、過去にも行われたように、共同研究を企画できればと考えています。この第20号では、巻頭言として「近代日本におけるキリスト教受容と讃美歌」という文章を掲載しましたが、これは共同研究の具体例を意図しています。この点につきましても、ご意見ご提案をいただければと思います。

◆今後とも、本研究会のために、各方面からのご協力を賜りますよう、よろしく、お願い申し上げます。

2022年3月

研究会・研究活動担当

芦名 定道

ASIA CHRISTIANITY DIVERSITY

XX

CONTENTS

Preface ASHINA Sadamichi (01)

Articles

The Formation of Imperial Shintoistic Christianity and a Trinitarian Understanding of Shintoism
: Focusing on *Ebina Danjo*, *Wataze Tsuneyoshi*, *Otani Yoshitaka* during the Asia-Pacific War
(Fifteen-year's war) HONG YiPyo (05)

Protestant Chinese Building Contractors and Modern Mission-related Construction in Korea
: The Cases of Harry Chang and Gongwen Wang in Seoul
..... LEE Hyewon (33)

Essay

Looking at the World through Nishida's Philosophy: the Contemporary Necessity of a Paradigm
Shift TAKAHASHI Katsuyuki (55)

Activity Report (70)

Postscript ASHINA Sadamichi (72)

March, 2022

Study Group for Christianity and Diversity in Asia
Kyoto Japan

ISSN 2432-1796